



まほろし え どうきょうやさい おやまだ さく
幻の江戸東京野菜「小山田ミツバ」を探る！！

え どうきょうやさい
江戸東京野菜ってなに？

江戸東京野菜は、江戸時代から昭和40年代にかけて東京やその周辺で作られてきた伝統野菜です。

江戸東京野菜の種や苗は、近郊の農家さんや、種や苗を扱うお店などによって守られてきましたが、農家さんが減ったり、作るのに手間がかかるなどの理由で、一時はその姿が食卓から消えつつありました。

現在、「昔から引き継がれてきた命を絶やしてはいけない！」という考えから、「江戸東京野菜をもっと普及させよう！」という活動が広がっています。

おやまだ
「小山田ミツバ」ってなに？

江戸東京野菜のうち、唯一、町田市で栽培されるのが「小山田ミツバ」です。

「小山田ミツバ」は、町田市小山田地区で農業を行う田中 永治さんのおじいさんのいところが大正時代に栽培を始めたミツバで、その種は代々田中さんの家に引き継がれています。

育てるのが難しいため、しばらく栽培をしていませんでしたが、今年から栽培を再開しました。

おやまだ せいさんしゃ たなか えいじ
小山田ミツバの生産者 田中 永治さんにインタビューをしました！



なぜ小山田ミツバをまた作り始めたのですか？

体調を崩してしまっているおじいさんに、もう一度小山田ミツバを見せてあげたいと思い、栽培を再開しました。

小山田ミツバとふつうのミツバは何が違いますか？

スーパーなどで売られているふつうのミツバは、水耕栽培といって、水を使って育てますが、小山田ミツバは畑で土に植えて育てます。畑で育てることで、より香りが強いミツバになります。

小山田ミツバはどこで買えますか？

栽培を再開したばかりなので、毎日お店で売ることができる量はとれません。今はまだ給食でしか食べられないといっても良いと思います。